

生態工学 2019 年度第 1 回理事会議事録

日時：2019 年 5 月 28 日（火）13：30～15：20

場所：東京文化会館

【総務委員会】

2019 年度総務委員会活動報告（6 月期）

(1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。

会員数：2019 年 5 月 23 日現在（カッコ内は 2018 年 4 月 1 日からの増減）

終身会員 1 名（増減なし）

正会員 304 名（2 名増）

学生会員 72 名（2 名増）

合計 376 名（4 名増）

賛助会員数：8 団体 9 口（1 団体 1 口減）

耐圧硝子工業株式会社（1 口）、ダイキン工業株式会社（2 口）、

日揮株式会社（1 口）、ホテイ産業研究所（1 口）、ヤンマー株式会社（2 口）、

宇宙システム開発株式会社（1 口）、クリムゾンインタラクティブ（1 口）

会費納入状況：39 人 / 208 人（約 18%）

(2) 審議事項

- ・第 10 回日本学術振興会 育志賞受賞候補の推薦者を募ることとなった。

(3) 報告事項

- ・ホームページのセキュリティ管理について
SSL 設定構築およびドメインプロテクション設定構築対応を行った。
- ・日本農業工学会 2019 受賞とフェロー授与の決定について
生態工学会より推薦した木部 勢至朗先生が日本農業工学会賞 2019、大西 充先生と多胡 靖宏先生が日本農業工学会 2019 フェロー授与に決定した。授賞式ならびに受賞講演会は 5 月 14 日に開催された。
- ・「第 63 回宇宙科学技術連合講演会」共催について承諾を行った。

以上

【企画委員会】

2018年度企画委員会活動報告

下記の報告がなされた。

(1) 日本地球惑星科学連合2018年大会（合同開催）

日 時：2018年5月20日（日）～5月24日（木）

会 場：幕張メッセ、東京ベイ幕張ホール（千葉市）

主 催：日本地球惑星科学連合

特記事項：20日（日）にセッション「圏外環境における閉鎖生態系と生物システム」
において、6件の口頭発表と4件のポスター発表を実施。

(2) 2018年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2018年6月22日（金）、23日（土）[エクスカーショ 6月21日（木）]

会 場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学術交流会館（大阪府堺市）

参 加 数：118名

特記事項：

- エクスカーショ（ダイキン工業 TIC） 13名参加
- 一般セッション口頭発表 11件、ポスターセッション19件
- オーガナイズドセッション（3企画）
 - 「月面農場ワーキンググループ活動報告」 4件
 - 「低炭素社会に向けた微細藻類の新たな技術革新」 3件
 - 「次世代科学社会活性化委員会企画セッションとして
～アカデミアを活かして生きる」 3件
- ポスターオーガナイズドセッション
（大阪府立大学植物工場研究センターコンソーシアム共催）
「大阪府立大学植物工場研究センターコンソーシアム共同研究成果
報告会」 17件
- 記念講演会「生態工学会の歩みと未来に向けて」
 - 講演1 CELSS 学会の活動について、および閉鎖型生態系実験施設
を用いた物質循環閉鎖居住実験
生態工学会理事 多胡靖宏
 - 講演2 CELSS 学会から生態工学会へ
第6代会長 大政謙次
 - 講演3 生態工学会の未来に向けて
第8代会長 木部勢至朗
- 総合討論 若手の会・若手研究者有志との意見交換
- 大阪府立大学植物工場研究センター見学

(3) 平成30年度 科研費新領域「宇宙に生きる」若手夏合宿

日 時：2018年7月26日(木)～27日(金)

会 場：伊香保温泉 森秋旅館

参加数：70名

特記事項：科研費新領域「宇宙に生きる」は、無事に中間評価を終え第2段階に入った。今回の合宿は宇宙惑星居住科学連合若手の会との合同開催で「生態工学会の紹介」を行った。若手の方々とどのように宇宙実験を発展させていくべきかざっくばらんに話し議論した。

(4) 第62回宇宙科学技術連合講演会(共催)

日 時：2018年10月24日(水)～10月26日(金)

会 場：久留米シティプラザ(福岡県久留米市)

主 催：日本航空宇宙学会

特記事項：25日(木)にオーガナイズドセッション「宇宙で生きる!～地球軌道を超えてみよう～」を企画し、12件の講演を実施した。

(5) 日本マイクロ重力応用学会第30回学術講演会(協賛)

日 時：2018年10月29日(月)～10月31日(水)

会 場：じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11)

主 催：日本マイクロ重力応用学会

特記事項：10月31日(水)にオーガナイズドセッション「宇宙惑星居住科学」において、題名「環境制御生命維持技術(ECLSS)と生態工学会の紹介」で講演を実施した。

(6) 第1回 生態工学サロン(主催)

日 時：2019年3月21日(木) 16:00～18:00

会 場：Liberal Arts Café DARWIN ROOM 2階ラボスペース
(東京都世田谷区代沢5-31-8)

参加数：30名

特記事項：「宇宙での食と栄養」をテーマに下記の2件の話題提供を行った。

講演1 体をつなぐ食べ物、心をつなぐ食べ物 吉田滋樹(筑波大学)

講演2 宇宙における細胞農業の可能性

川島一公(インテグリカルチャー社)

(7) 定例研究会

第1回

テーマ：農業・食品産業で利用される膜分離技術

日 時：2018年5月21日(火)

会 場：東京文化会館

講 師：萩原 昌司氏(農研機構食品研究部門)

第2回

テーマ：AIの基礎から第一次産業での活用まで

日 時：2018年10月19日（火）

会 場：東京文化会館

講 師：中村 俊輔 氏（エッジコンサルティング株式会社 AI事業開発部）

第3回

テーマ：国際宇宙ステーション「きぼう」の概要と利用について

日 時：2019年2月22日（金）

会 場：東京文化会館

講 師：高柳 昌弘 氏（JAXA 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター）

2019年度企画委員会事業計画

下記の計画が発表された。

(1) 日本地球惑星科学連合2019年大会（合同開催）

日 時：2019年5月26日（日）～5月30日（木）

会 場：幕張メッセ、東京ベイ幕張ホール（千葉市）

主 催：日本地球惑星科学連合

特記事項：5月26日にセッション「圏外環境における閉鎖生態系と生物システム」において、口頭発表とポスター発表を実施

(2) 2019年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2019年6月28日（金），29日（土）

会 場：宇都宮大学峰キャンパス大学会館（栃木県宇都宮市）

(3) 第63回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2019年11月6日（水）～11月8日（金）

会 場：アスティとくしま（徳島県徳島市）

特記事項：オーガナイズドセッション「宇宙で生きる！～ISSの彼岸～」を実施予定

(4) 第2回 生態工学サロン（主催）

日 時：2019年11月（予定）

会 場：未 定

(5) 定例研究会

第1回

テーマ：光環境制御による付加価値植物の高効率生産

日 時：2019年5月28日（火）

会 場：東京文化会館

講 師：大橋 敬子 氏（玉川大学農学部）

※第2回以降も理事会後に実施する予定

以上

【表彰委員会】

2018年度表彰委員会活動報告

下記の報告がなされた。

(1) 表彰式、受賞記念講演の実施

2018年度総会（2018年6月21日、大阪府立大学中百舌鳥キャンパス）後に表彰式を行ない、以下の通り表彰した。

【学術賞】

木部 勢至朗
生態工学の宇宙応用に関する研究

富田-横谷 香織
微生物および植物を研究材料とした圏外を含む多様な環境における生物機能に関する研究

【奨励賞】

大池 新二郎
チンゲンサイ栽培による水熱分解液肥の作物生育に及ぼす効果と阻害の特性評価

下嶋 浩平
イネの形質と UAV リモートセンシングデータから計算されたカラー指標との比較

潘 洋
SLAMにより取得された3次元点群画像からの樹幹直径及び樹高の推定に関する研究

森 直哉
 H_2O_2 処理による酸化ストレスがリーフレタスの生育に与える影響

田之上 祐太
水熱反応による TiO_2 コーティング液の簡単でかつ経済的な調製

日高 智美
イチゴ栽培ハウスにおける冬季日照不足の改善策としてのLED補光の検討

下元 耕太
個葉光合成特性評価のための標準的計測プロトコルにおける気孔コンダクタンスとリン酸律速の影響

板倉 健太
手持ちおよび車載されたLIDARを用いた樹幹直径の推定に関する研究

Nhung Ngoc Hoang

Growth Responses of Wasabi Planlets under Different Temperature Regimes
During Photoautotrophic Micropropagation

(2) 2018 年度年次大会における優秀発表の表彰

2018 年度年次大会（2018 年 6 月 21 日，大阪府立大学中百舌鳥キャンパス）における優れた研究発表に対して，以下の通り表彰した。

【優秀講演賞】

板倉 健太

画像解析を用いた葉の自動分離による葉面積、葉傾斜角の推定

田中 都

異なる乾燥方法によるホップ香気成分の変化

武田 美恵

都市近郊林を水源とする河川の温熱環境に関する研究
－愛知県長久手市市街化調整区域を事例として－

小森 聡一郎

大規模代謝反応ネットワークモデル解法としての Taylor 級数法の有用性

オン 碧

陸棲藍藻 *Nostoc* sp.HK-01 の細胞密度と乾燥重量

(3) 被表彰者の選考

2019 年度被表彰候補者について審議し，以下の通り選考した。

【学術賞】

渡邊 博之

LED を光源とした植物工場の開発に関する研究

【論文賞】

板倉 健太

移動型スキヤニングライダーによる樹高測定に必要な移動距離の算出および地上および高所からの 3 次元画像の位置合わせによる樹高測定

2019 年度表彰委員会事業計画

下記の計画が発表された。

(1) 表彰式の実施

2019 年 6 月 28 日の総会後に表彰式を行ない、2019 年度被表彰者を表彰する。優秀講演賞については全発表が終了した後、表彰委員会の選考を経て、2019 年 6 月 29 日に表彰式を行う。

(2) 被表彰者の募集と選考

各賞の被表彰者の募集および候補者の選考を表彰規定に基づき実施する。

以上

【広報委員会】

2018 年度広報委員会活動報告

下記の報告がなされた。

(1) SEE Quick (メール配信) の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法の運用を通して、会員および関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ、2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までに 139 回 (通算 1527 回) 情報提供を行った。また、会員からの有用な情報 (求人・公募情報等) に関しては、SEE Quick の件名をつけずに会員へ配信した。

(注：2017 年度 NO. 1665～1788、2018 年度 NO. 1789～1927 ※通算番号は 400 番の番号飛びがある-網掛け部分総会資料には非掲載)

(2) HP の内容の更新

会員および一般の方へ、生態工学会の情報伝達を迅速に行うことを目的に、HP コンテンツ確認作業を行い、適宜内容を更新した。

2019 年度広報委員会事業計画

下記の計画が発表された。

(1) SEE Quick 配信 (メール配信) の運営

円滑な SEE Quick の配信業務を行うとともに、問題点などを検証し改善に努める。また、会員からの有用な情報を迅速に配信できる体制を維持する。

(2) HP の内容の更新

迅速な HP の内容の更新と整備を行い、会員および一般の方への情報提供を行う。
また、HP コンテンツ拡充のため、他学会 HP 等の内容を調査し、当学会 HP の充実・改善に努める。

以上

【事業推進委員会】

2018 年事業推進委員会活動報告

下記の報告がなされた。

幅広い世代にわたっての学会活動の事業推進を目指し、2018 年度 30 周年記念年次大会を下記のとおりで開催した。

- ・日時：2018 年 6 月 22 日(金)～23 日(土)
- ・場所：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学术交流会館
〒599-8531 堺市中区学園町 1-1
- ・大会テーマ：
「語り合おう今、未来を！私たちの地球、そして宇宙、熱く。」
- ・30 周年記念講演会
 - テーマ：「生態工学の過去・現在・未来」

 - 講演セッション：生態工学(会)の設立と歩み
大政名誉顧問、木部名誉顧問、多胡理事
 - パネルセッション：若手の会とのコラボレーション
- ・オーガナイズドセッション
 - 大阪府大植物工場研究センター共催による成果講演(ポスター発表)ほか全 4 件
- ・エクスカージョン
 - 日時：6 月 21 日(木) 14:00～16:00
 - 場所：ダイキン工業淀川製作所(大阪府摂津市)テクノロジー・イノベーションセンターを見学

2019年事業推進委員会事業計画

下記の計画が発表された。

2019年度は昨年度の年次大会で定めたテーマ「語り合おう今、未来を！私たちの地球、そして宇宙、熱く。」に基づいて事業推進が出来る仕掛けづくりの検討を進めていく。

以上

【各支部活動】

2018年度各支部活動報告

下記の報告がなされた。

【関西支部】

〈合同シンポジウム開催〉

関西支部では、支部会活動の活性化および学会会員増強のため2014年度より日本農業気象学会近畿支部との共催によるシンポジウムを行ってきた。2018年度は生態工学会関西支部と中国四国支部との合同で、日本農業気象学会近畿支部と中国・四国支部の合同支部大会(平成30年12月6日(木)13:00~7日(金)15:00)の一環としてシンポジウムを開催した。

テーマ：地域資源を活用した持続的農業に向けて

日 時：平成30年12月6日(木) 15:00~17:00

場 所：四国大学交流プラザ(4階・第2セミナー室)

〒770-0831 徳島市寺島本町西2丁目35-8

<https://www.shikoku-u.ac.jp/institution/attached-plaza/>

内 容：

- (1) 「仮題：世界農業遺産・にし阿波の傾斜地農耕システムと地域の活性化」
徳島県立農林水産総合技術支援センター 高木一文氏
- (2) 「生物多様性を活用した持続的農業の可能性」
農研機構西日本農業研究センター 楠本良延氏
- (3) 「環境との調和を目指した生態工学的農業－微生物機能を活用した資源循環技術による植物生産システム－」
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 遠藤良輔氏

(4) 総合討論



遠藤先生のご講演の様子

2019年度各支部事業計画

下記の計画が発表された。

【関西支部】

〈合同シンポジウム開催〉

2019年度も日本農業気象学会近畿支部との合同シンポジウムを11月下旬～12月上旬に開催する予定。(詳細は未定)

以上